



ジェニファー E・ジョーンズ
2022-2023年度 R I 会長



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2840
TAKASAKI SYMPHONY ROTARY CLUB
Symphony Weekly



No. 20

- 会長/President 井 汲 憲 治
- 幹事/Secretary 松 本 慎 悟
- クラブ会報委員長/Committee Man of Weekly Report 福 田 夕 紀 子
- 第 2 週 2023年 4月14日 (金)
- 例 会 毎週金曜日
- 点 鐘 12時30分
- マリエール高崎
- 例 会 場
- 事務所/Office
- 高崎市本町144-1 光明第7ビル202号室
- T E L 027-328-3371
- F A X 027-328-3372
- http://www.takasakisymphony-rc.org
- E-mail:sym@po.wind.ne.jp
- 事務局員/Office worker 浅 見 洋 子
- 本日のプログラム 会長の日 井汲憲治会長
- ロータリーソング 我等の生業
- 第1176回例会報告

第3週 3月17日 (金)
会場：マリエール高崎「ハンプトン」
プログラム
ゲスト卓話 米山奨学生 張 燕妮さん



クラブ協議会「R Y L A 研修会開催に向けて」
R Y L A 実行委員長 横山正男君

御来訪者/Visitor 3名
吉井電気株式会社 取締役会長 吉井弘子様
高崎北ロータリークラブ 会長 堤 謙治君
米山奨学生 張 燕妮さん

出 席 報 告	
会 員 数	4 5 名
出席計算人数	4 5 名
本日出席者	3 5 名
本日出席率	7 7 . 7 8 %
先々週出席率	7 7 . 7 8 %

- 幹事報告/Secretary Report
- ・神戸東灘 R C 週報
- ・高崎北 R C 創立55周年記念講演会ご案内
- ・トルコ・シリア大地震義捐金募金箱への寄付のお願い (募金箱回覧)
- ・ハイライトよねやま vol.276
- ・第36回サケの稚魚事業ご協力への御礼 (高崎青年会議所)
- ロータリー財団表彰
- ・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー第1回 齋藤達雄君



- 委員会報告/Committee Report
- ニコニコBOX/Donator Niconico Box
- 高崎北ロータリークラブ会長 堤 謙治君
(本日はおじゃまします)
- 井汲 憲治君 (北クラブの堤会長をお迎えして)
- 土屋 貴洋君 (" ")
- 泉 省平君 (" ")
- 堀口 芳明君 (吉井弘子さんをお迎えして)
- 安藤 淳君 (張さん、卓話頑張って下さい!)
- 浦野 幸男君 (2月奥様 誕生日祝として)
- 木村めぐみ君 (3月誕生日祝として)

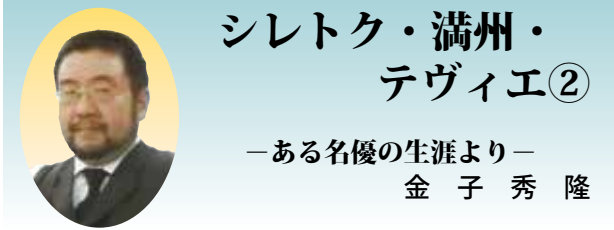
- ロータリー財団BOX/Donator Rotary Foundation
- 宮口 昌利君 ビューエル芳子君 林 章君
- 高橋寿美江君 清水 雄至君
- 米山奨学会BOX/Donator Yoneyama Scholarship
- 君島 准逸君 高橋 正光君 泉 省平君
- 柴崎 晟君 橋爪 健君 池田 貴明君
- 友好クラブ委員会

4月8日-9日の神戸東灘 R C 訪問、諸費用振込について等最終確認。
高崎北 R C 会長 堤 謙治様より
高崎北 R C 創立55周年記念講演会 5月20日開催のご案内。



次回の例会予定

4月21日（金）12：30 通常例会
プログラム「ゲスト卓話」
地区補助金委員長 小林匡美様（高崎南RC）



シロク・満州・ テヴィエ②

—ある名優の生涯より—
金子秀隆

1913（大正2）年5月、菅沼達吉と馬詰愛江の庶子三兄弟の末子久彌が誕生しました。後に森繁家の養子となります。父方は森家よりの養子、森の祖父も松本家よりの養子なので三代養子でした。大祖父に幕末儒学者にして明治のジャーナリスト成島柳北がいます。

父達吉は、幕府大目付森泰次郎の子として生まれ、叔父成島柳北の薫陶を受け東京大学に入学します。1888（明治21）年、設立間もない第二高等中学（現：東北大学）に赴任して教授となりました。1897（明治30）年争議の為退任し、日銀に転じます。

その後大阪市助役を経て大阪電灯常務、1915（大正4）年に2歳の久彌を残し逝去しました。久彌に父の記憶はないそうです。枚方に敷地3千坪の邸宅を構えていましたが、祖母と母の折り合いが悪かったのか、甲子園球場の出来る前の地に母と共に移住します。

久彌が森繁を名乗るのは、小学5年の頃だそうです。父方の祖母が嫡男は徴兵猶予があると信じ、愛江の長子の弘を馬詰家へ久彌を祖母が再嫁した森繁家へ養子としたのだそうです。久彌にとっては血縁のない家でした。

その後大阪府立一中である北野中学（現：北野高校）に進み、早稲田大学に入学します。そこで劇研（演劇研究部）に入ります。ここの活動を通じて後に妻となる満寿子（杏子）に出会いました。しかし大学3年の時、軍事教練不参加の為早稲田を中退してしまいました。

この頃父の遺産は投資詐欺によって消滅します。親戚の伝手で役者でなく裏方でという約束で東宝に入社します。この約束を反故にして藤山一郎ショーの舞台に立ち、その後はロッパ一座に転じます。ここで座付き作家の菊田一夫に出会います。

1938（昭和13）年徴兵検査を受けますが耳の手術の予後が悪く、不合格となります。試しに受けたNHKアナウンサー試験に合格し、外地を志望し満州は新京（長春）へ赴くこととなりました。ここで秘かに誓いを立てたそうです。

「何でもいいから文句を言わず人の2倍から3倍

働いてやろう。今からでも遅くはない、出来るだけ勉強をして、無為に流れた青春の日々を取り返そう。一切の過去を、良かれ悪しかれひっくるめて忘却の淵に捨て去ろう。」満州に骨を埋める覚悟でした。

録音機材と共に満州全土を駆け巡り、甘粕正彦率いる満州映画協会ではナレーションを務め、日本から文化人を始め要人が訪れば接待も買って出ます。彼のルポルタージュ「黒龍氷原を征く」は当時の国定教科書にも掲載されたそうです。

1945（昭和20）年終戦を迎えると、新京にソ連軍が雪崩れ込みます。そこそこで強姦・強盗・殺人が行われました。森繁一家も大連から東シナ海沿いの錦州の収容所まで逃れますが、ここで送還の手伝いをして1946（昭和21）年10月に帰国しました。

引揚者には本土の風は冷たく闇屋の真似事もしたようです。既知の菊田一夫の推薦で東宝に復帰します。2枚目と3枚目の間の役者を志して『夫婦善哉』が当たり役となって、『社長』シリーズ、『駅前』シリーズとヒットを飛ばし、確固たる地位を築きます。

あゆみの箱は、映画監督の川島雄三がポリオの後遺症で亡くなり、俳優の伴淳三郎が森繁を誘って、この様な人達を援助した慈善団体です。ここで加藤登紀子と出会います。

2023年2月10日（金） 高崎セントラルRC・ 高崎シンフォニーRC合同夜間例会

新型コロナウイルスの影響により、機会を逃し4年ぶりの開催となりました。任天堂Switchを使用したゲームでの体を使った対戦、大盛況でした。

